

あなたもチャレンジ! 家庭菜園



ピーマン 整枝、追肥、灌水、剪定で長期収穫

園芸研究家 ● 成松次郎

トウガラシのうち、辛味のない肉厚の楕円(だえん)形のもがピーマンです。また、パプリカと呼ばれるものは、赤、黄、橙(だいだい)などの着色した完熟果を収穫する品種です。高温性で暑さに強く、病害虫が少ないので栽培しやすい野菜です。

【品種】ピーマンの育苗期間は70〜80日と長いため、苗の購入が便利ですが「京まつり」(タキイ種苗)「翠玉二号」(サカタのタネ)などが良いでしょう。

【良い苗の選び方】良い苗は、①本葉8〜10枚で、双葉が付いている②茎が太く節間が短くしつかりしている③葉が緑色でつやがある④一番花のつぼみが付いている⑤病害虫のないものです(図1)。

【畑の準備】植え付け2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gをまいて土とよく混ぜておきます。1条植えの場合は1週間前に

図1 良い苗の選び方



図2 畑の準備

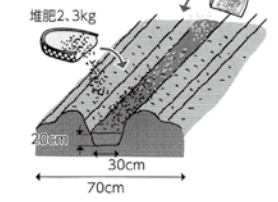


図3 植え付け

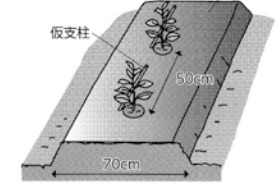


図4 整枝・誘引



栽培カレンダー(ピーマン)

|     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 冷涼地 |    |    | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲   |     |
| 中間地 |    | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲   |     |
| 暖地  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲   |     |

▲ 植え付け — 生育 ■ 収穫

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

幅70cm程度の栽培床を作り、中央に幅30cm、深さ20cmの溝を掘り溝1皿当たり化成肥料(NPK各成分10%程度)200gと堆肥2.3kgを施しておきます(図2)。

【植え付け】晩霜の恐れがなくなったら、株間50cm程度で植え付けます。あらかじめ黒のポリフィルムでマルチをし、地温を高めておきます(図3)。

【整枝・誘引】植え付けと同時に仮支柱を斜めに挿し、株を支えます。一番花が着果すると、脇芽が伸びてくるので、一番花のすぐ下から出る勢の良い2本の側枝を残し、他は取り除き3本仕立てにします。そして、一番花より下の脇芽は早めに摘み取ります(図4)。

なお、一番花は着果負担があるため、開花中に摘花します。その後、主枝または側枝に沿って1m以上の支柱2、3本を交差させて誘引・固定します。

【追肥・灌水(かんすい)】収穫が始まる頃から、マルチフィルムの裾をめくり、1平方m当たり(約4株分)化成肥料50g程度を株元にまき、土寄せします。その後、半月置きに畝の裾に同量を収穫中休みなく与えます。根張りが浅く、乾燥に弱いので夏場は毎日灌水しましょう。

【剪定(せんてい)】盛夏になると、枝が込み合い、葉が茂って果実への日当たりが悪くなってきました。そこで、この頃に重なるた枝を剪定します。

【病害虫防除】アブラムシにはマラソン乳剤、アデイオン乳剤などの登録農薬で防除します。

【収穫】開花後15〜20日、30g程度つやのある若い果実を収穫します。

畜産



子牛・育成牛の飼養管理について



畜産  
太田 拓真  
上島営農指導センター  
090-6770-6661

現在熊本県の家畜市場では、体高・増体ともに大きな牛でなければ高値が付きにくくなっています。普段の飼養管理を見直し、大きな牛を作りましょう。

下記の表は、黒毛和種の標準的な体高と体重の目安です。

| 月齢 | 日齢      | 期末目安体高 (cm) |     | 期末目安体重 (kg) |     |
|----|---------|-------------|-----|-------------|-----|
|    |         | 去勢          | 雌   | 去勢          | 雌   |
| 0  | 生時      | 78          | 75  | 35          | 28  |
| 1  | 1〜30    | 83          | 80  | 50          | 46  |
| 2  | 31〜60   | 87          | 87  | 70          | 67  |
| 4  | 91〜120  | 96          | 95  | 119         | 111 |
| 6  | 151〜180 | 104         | 101 | 176         | 163 |
| 8  | 211〜240 | 111         | 107 | 240         | 217 |
| 10 | 271〜300 | 117         | 113 | 307         | 271 |

日本飼養標準2000より抜粋

現在の市場平均では、この表より10〜20kgほど多く、高値

の牛はそれよりさらに20kg以上増体しています。

子牛・育成期には体の前(頸、肩)から後ろ(背と尻)へ、そして中(内臓、骨格)から外(筋肉、脂肪)へと作り上げることが重要です。

人と同じで、牛も体作りにはタンパク質が必要ですが、牛は人のように肉などからではなく、粗飼料を胃の中で消化する際に働く微生物からタンパク質を摂取します。濃厚飼料からも摂取できますが、大きな胃と骨格を作るには粗飼料の剛性で胃の絨毛を刺激、発達させなければなりません。

そのため、濃厚飼料のやりすぎに注意し、良質な粗飼料を多く給与する事が、大きな牛を作るためには重要となります。



## 3月、4月の柑橘園管理

**果樹**

原口 悠貴  
下島営農指導センター  
080-2725-7775

### 1. 病害虫防除

| 対象病害虫  | 農薬名                  | 品 種       | 希釈倍数             | 備 考                       |
|--------|----------------------|-----------|------------------|---------------------------|
| ミカンハダニ | ハーベストオイル             | 温州<br>中晩柑 | 100倍<br>80倍      | 発芽前<br>※樹勢が弱い樹には散布し<br>ない |
| かいよう病  | IC ボルドー66D           | 温州<br>中晩柑 | 60倍              |                           |
| そうか病   | デランフロアブル             | 温州        | 1,000 倍          | 4月上旬<br>(発芽 3mm頃)         |
| かいよう病  | コサイド3000<br>加用 クレフノン | 中晩柑       | 2,000 倍<br>200 倍 | 開花前<br>(かいよう病の発生が心配される園)  |

※発芽前のかいよう病防除では、ハーベストオイル散布後、2週間程度空けて散布すること。また、ムッシュボルドー (DF) 500倍も使用可。  
 ※近年カイガラムシの発生がある園では、ハーベストオイル未散布の場合アブロード (水) 1,000倍。混用アビオンE1,000倍を散布する。  
 ※温州: そうか病対策では、フロンサイド (SC) 2,000倍も使用可。  
 ※温州: そうか病多発園では、再度デラン (F) 1,000倍を使用。

### 2. 施 肥

| 栽培タイプ | 肥料名                        | 品種名                  | 施肥時期 | 10a当たり   |
|-------|----------------------------|----------------------|------|----------|
| 全タイプ  | 硫マグエース                     | 全品種                  | 4月上旬 | 2袋       |
| 省カタイプ | 新アグリロング28号                 | 河内晩柑・清見・甘夏・パール柑・デコポン | 3月上旬 | 5袋       |
| 通常タイプ | 果樹専用スペシャル<br>又は<br>果樹専用「極」 | デコポン                 | 4月上旬 | 5袋       |
|       |                            | 河内晩柑・清見・甘夏・パール柑      |      | 4袋       |
|       |                            | ポンカン                 | 4月中旬 | 8袋       |
|       |                            | 極早生<br>早生・中熟・普通      |      | 6袋<br>8袋 |

### 3. 葉面散布 まずは樹勢を回復し、その後花芽分化促進を行いましょ。

| 目的     | 薬 剤 名                         | 希釈倍数  | 備 考         |
|--------|-------------------------------|-------|-------------|
| 樹勢回復   | 尿素 又はニューアミノジューシーN14又は 神協スピリッツ | 500倍  | いずれかを使用ください |
| 花芽分化促進 | ファームメント又はニュージューシーエース          | 500倍  | いずれかを使用ください |
| 緑化促進   | 葉面マグ                          | 200 倍 |             |



## 令和7年産早期水稻の準備について

**水 稲**

田代 好幸  
農畜産課  
0969-22-1105

令和7年産の早期水稻の準備時期となりました。6年産は、気象状況の変化・高温障害等による収量減及び品質低下となったことから、堆肥や土壌改良資材(規格数量)を投入し、地力の改善を図りましょう。また、中間施肥を行うことで高温障害の軽減となりますので、実施して下さい。

#### ○健苗の育成

早期水稻の育苗日数は25日程度ですので、田植え日から逆算して播種日を決定しましょう。2葉苗～2.5葉苗の場合の播種量は乾粃で150g(催芽粃では180g)が基準となります。播種に最も適しているのは、ハト胸状態の時です。そのためには十分に浸種を行って、水の入れ替えと1日1回は攪拌して水温が均一になるようにしましょう。

#### ○田植え

早い地区では、3月下旬より田植えが始まります。苗は田植えの5日前位から育苗ハウスのサイドビニールを下げて、外気に充分ならしましょう。(遅霜の場合は、注意して下さい。)

- ①田植えの適期は4月5日から15日頃です。
- ②植え付け本数は、坪当たり55～60株程度、1株の苗数は3～5本が標準となります。苗数が多くなると過繁茂の原因となり、倒伏や病害虫が発生しやすくなりますので注意しましょう。
- ③植え付けの深さは活着や分けつ等に大きく影響するので、2～3cmが目安です。

#### ○水管理

暖かい日中は浅水にしますが、活着するまでは朝晩冷え込む

ことがありますので、気象情報に注意しながら、新しい根が出るまでは深水にしましょう。活着後は、浅水管理で水温・地温の上昇を図り、分けつの促進に努めて下さい。

#### ○病害虫・雑草等対策

・初期では、イネミズゾウムシや葉いもち病が防除の中心となります。田植え前に必ず箱施薬(ブーン・パディート箱処理剤)を散布し、むらがないように施用しましょう。

1箱当たりの散布量は50gとなります。※除草剤と間違っ  
て散布しないよう注意下さい。

・除草剤は、プライオリティ剤を散布して下さい。田植え後5日から15日に散布し、その後は水を張った状態を5日程度保って下さい。水の掛け流しや、土の表面が見えるような場合は、除草の効果が落ちますので注意して下さい。

尚、藻類対策として(モゲトン粒剤)又は、中後期雑草対策の除草剤第2回目(アトトリ粒剤)は、どちらか一方の除草剤を選択して使用して下さい。

#### ○農業用廃プラスチックの処理対応について

農業用ビニール・牧草ラップフィルム・肥料袋など、産業廃棄物の野焼き・不法投棄・資材の飛散などが発生しています。野焼きや不法投棄などは法律で禁止されていますので、適切な処理・管理を徹底して下さい。

なお、行政・JA等で収集日を決めてありますので、産業廃棄物を処分される場合は、関係機関へ確認して下さい。